

【 診療科:呼吸器内科 】
 【 レジメン登録番号:IP-22 】

〈 CBDCA+PEM+BEV療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
ベバシズマブ	15mg/kg	div	○														
アリムタ	500mg/m ²	div	○														
カルボプラチン	AUC:6	div	○														

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6 コース】

【適応癌種: 非小細胞肺癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・**進行**・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
WBC	3,000/ μ L未満		
Plt	100,000/ μ L未満		

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ベバシズマブ 15mg/kg	div(初回90分 2回目60分、3回目以降30分)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A 生理食塩水 100mL	
Rp.3	アリムタ 500mg/m ²	div(10分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	カルボプラチン (AUC:6) × (GFR+25)	div(60分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	

【参考文献:Phase II trial of bevacizumab plus pemetrexed and carboplatin in previously untreated advanced nonsquamous non-small cell lung cancer.】

【備考:コントロールされていない脳転移症例など、ベバシズマブの添付文書で禁忌になっている症例には、使用しない。】

【備考:重篤な副作用の発現を軽減するため、葉酸及びビタミンB12を投与すること

※葉酸:本剤初回投与の7日以上前から、葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。

なお、本剤の投与を中止または終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。

※ビタミンB12:本剤初回投与の少なくとも7日前に、ビタミンB12として1回1mgを筋肉内投与する。

その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週毎(3コースごと)に1回投与する。】

【備考:終了後は、PEM単剤・BEV単剤・PEM+BEVのいずれかの維持療法へ移行。】

【変法情報:】